

笠間市社会福祉協議会大旭支部
 発行 大旭支部長 菅原 毅
 編集 大旭支部広報委員会
 発行日 平成28年12月20日
 印刷 有限会社大塩企画

おおあさ支部報

大旭支部役員研修会

師走の間近に迫る11月30日、友部公民館出前講座が、役員研修会を兼ねて開催され、28名が参加しました。

研修先の栃木県に向かう車内で、菅原毅社会福祉協議会大旭支部長から「本年度の事業が、順調に執行されています。今日は、友部公民館講座の南秀利先生を講師に迎えて、意義の深い研修となることを願っています」とあいさつ。

また南先生からは、足利学校の創建にかかわった先人の足跡や、蔵書の紹介・地名の由来など。足利氏ゆかりの鏝



南先生が鏝の教えを説く。左の器(満ちて覆らないものはない)の座ゆうざのき

歴史と学びを訪ねて

阿寺(ばんなじ)の概要。厄除けとして広く知られる、佐野厄除け大師について、わかりやすい説明を受けました。

最初の目的地、足利学校は日本最古の学校として創建され、今もその精神が生き続けており、教育の原点・生涯学習の拠点として、学びの灯が受け継がれていました。

その実例として、論語の素読が授業に取り入れられ、これを学ぶ清新な中学生の姿を見学することが出来ました。

次の鏝阿寺では、本堂をはじめ壮麗な建築様式が密教仏堂の形式であること。また関東地方の禅宗の古刹として、人々の心よりどころであり続いていることなど。

また、佐野厄除け大師【惣宗寺(そうしゅうじ)】では、厄除け参りに訪れた晴れ着の姉妹がとてもかわいらしく、皆が口々に声を上げてともにお祝いをしました。

帰路の車内では、黄葉と日光連山の雪景色や行先での体験に会話もはずみ、充実した一日を過ごしました。

食の大切さ学ぶ

女性部研修同行記

◆ ◆ ◆ 抜けるような秋の青空に恵

◆ ◆ ◆ ました10月12日、女性部(にじの会)主催の研修視察が行われ、33名が参加しました。

研修先のつくば市に向かうバスの車中で、渡辺米子部長から研修目的と、配食活動を通じた高齢者の見守り活動へのお礼があり、同行をした社

協大旭支部の小野武副支部長から「女性部は支部活動の核心を支え、地域の方々から感謝を受けています」と、あいさつがありました。

最初の目的地(有)筑波ハムでは、講師の高取和義氏の熱血指導のもとで、ソーセージ作りを体験しました。体験に先立ち、食肉の温度管理の大切さと取り扱い方法や部位の特徴、加工や保存の方法など、衛生管理と知識について、学び習得しました。

つづく実技では、肉の加工方法・腸詰の成型方法など、一連の調理技術に挑戦しました。しかしながら、講師の手



ソーセージ作りを体験

元を見ている限り簡単に見える作業でも、いざ自分でやるとなると一筋縄ではいきません。講師から「体で覚えることが大切です」と助言を受けながら挑戦し回を重ねることで、見事なウインナーソーセージを作ることが出来ました。

試食では、湯気の立つ出来たてを、楽しみました。

次に訪れた食と農の科学館は、農林水産研究を行う国立研究開発施設で展示場を職員の家内により見学しました。

帰路の車内では「研修で学んだ体験や食と農林水産物の大切さを、今後の活動に活かしていきたい」との声が聞かれました。

地区三世代 交流会

大旭支部では、毎年各地区で開催される三世代交流事業に、助成を行っています。

地域に愛される学校 昔遊びを元気に体験

11月5日「三世代ふれあいのつどい」が、友部第二小学校の校舎や体育館、グラウンドを会場に全校児童や保護者、大旭支部関係者やボランティアなど約1000人が集まって盛大に開かれ、児童の鈴木春菜(6年生)さんのはじめの言葉で開会されました。

森田正男校長、菅野浩一PTA会長、菅原毅社会福祉協議会大旭支部長が「友二小は地域に愛されている学校です。地域の友達と竹馬やメンコなど、昔遊びをおしえていただきながら、いろいろな人と接してお話をして勉強してください」とあいさつ。
長谷川和紀君・藤井航太君(6年)が催しものの案内、その後、教室や体育館、屋外に分

かれ、ボランティアや支部役員らによって竹馬・めんこ・ペーゴマ・紙ひこうき・どんぐりごま・おりがみ・けんだま・はねつきなど21種類の遊びやゲームが準備されており、はじめて体験する遊びに四苦八苦しながらも、子どもたちは熱心に取り組み、お父さんお母さんも一緒に楽しんでいました。

おわりのつどいでは、藤井航太君(6年)から感謝とお礼の言葉が述べられ、鈴木春菜さん・村上由衣さん(6年)から大旭支部に花束が贈呈され、廣田直人君の終わりの言葉で終了しました。

た11月6日、旭平二区の「ふれあいの集い」が開催され、会場の旭崎新農村集落センターに120名を超える方々が参加しました。

開会式では、小島雄二区長の主催者あいさつに続き、来賓の山口伸樹笠間市長・小野武社会福祉協議会大旭支部副支部長・大垣茂旭平一区々長を代表し、山口市長から「この機会を通し、地域のつながりを更に高めてください」と、祝辞がありました。

菊の花の品評会も行われた会場は、ふれあいの集いと防災訓練の2部構成により、行事が進められました。



茶道の心得を説く渡辺さん

地域のつながりを

旭平二区

抜けるような青空の広がっ

ふれあいの場では、輪投げ・バターゴルフ・豆つかみゲーム・紙飛行機の飛距離競争に、集い合う皆さん方の姿がなごやかな情景でした。

また、全員でのピンゴゲーム・各種ゲームと菊の花の品評会の表彰式のあとに、お母さん方の手作りカレーライスを頂きました。

防災訓練では地元消防団員の活動紹介に加え、現役と〇

B団員の合同消防訓練により、防災意識の高揚と技能の継承がなされていきました。



飛距離の記録を出した紙飛行機

楽しい交流会

旭台団地

さわやかな青空の広がった10月23日に、当地区恒例の三世代交流会が高柳栄次実行委員会会長のもとで開催され、団地内の会場は150名を超える参加者の、つどいの場となりました。

開会式では、高柳会長から「楽しいひと時に、ご協力ください」との主催者あいさつに続き、鶴田弘司日本赤十字社茨城県支部笠間市地区長から「皆さんとともに救急法の講習・訓練ができることは、意

義の深いことです」と、あいさつがありました。

イベントに先立つラジオ体操は、子ども会の児童のリードで身体を温めて、けがや不慮の事故予防に備えました。

会場には、水ヨーヨーや万華鏡作りとけん玉遊びや、綿あめとポップコーンのお菓子のコーナーが開かれ、子どもたちが会場内を巡り歩く楽しみの場となりました。

また防災の部では、三角巾によるさずの手当てと、鉄パイプに毛布を組合わせた応急用担架搬送とで、被災者が安心して安全な救急法を体験することが出来ました。

楽しく充実した交流会場は昼ごはんのあとに解散となりました。



みんなでけん玉あそび

地域の和を広げて 旭台

グラウンドを駆け回り、地域に子どもの声が響きわたった11月6日、旭台地区（沼田悦男区長の旭台つどい会が、今年高田石材グラウンドを会場に、子ども会、祖父母、お父さん、お母さん、役員、菅原毅大旭支部長など約100人以上の住民が参加して盛大に開催されました。

絆の強さを実感 旭崎一区

さわやかな青空のもとで11月13日、旭崎一区主催の「三世代交流秋祭り」が開催され、会場の旭崎新農村集落センターに90名を超える皆さんが、参加しました。会場広場には綿

あめコーナーが設けられ、子どもと大人の笑顔があふれていました。イベントは、子ども向けの紙飛行機飛ばしや、グラウンドゴルフホールインワン競技と豆つかみ競争に、歓声があ

沼田区長は「今日は、旭台地区の皆さんが、協力しあって地域のふれあいと、人々との触れ合いを大切に、今日一日を楽しく過ごしてください」とあいさつ。今年初のグラウンドゴルフ・焼きそば・餅つきなど、お父さん、お母さんたちの手料理を満足そうにほお張り、食後は子どもたちが思い切り遊べて、駆け回れるグラウンドは、寒さを吹き飛ばす子どもたちの声が響いていました。

また広場での餅つきと焼きそば作りは、男性方の威勢の良い掛け声と食欲を誘う匂いに包まれている一方、調理室では女性の皆さんによって、



豆つかみスタート

保護者は、はじめての餅つきに奮闘、杵を振るう姿に子どもは大喜び、つきあがった餅はきなこ餅やあんこ餅にな



餅つきに奮闘するお父さん方

お雑煮など八種類もの料理が取り揃えられました。昼時には競技の表彰式と会食を前に、佐竹克文区長の主催者あいさつと、来賓の菅原毅社会福祉協議会大旭支部長から「皆さま方の絆の強さを、実感しています」と、祝辞が述べられました。

また、子ども会が主役のピョンゴゲームと各種ゲームの表彰式に続いて、長年区長を務められた小野武さんへの感謝状贈呈と謝辞で世代間の継承が進むなかで、施設の方々と子ども和やかな会食ののちに、散会しました。

り、すぐにみんなのおなかに、お母さん方自慢の焼きそばも大好評、おかわりする子どももいて余す事なく食事が終了。子ども達は、思い思いに遊びながら、楽しい一日を過ごしました。

笑顔に迎えられて 配食同行記

11月1日、じの会（渡辺米子会長）では朝早くから、保健センターの調理室で、一人暮らしの高齢者に配食する弁当を、分担しあって作業を進め、午前11時30分には弁当ができあがり、それぞれ車に分乗し、配食に向かいました。

本誌記者も、会員の運転する車に同乗して、旭台団地の利用者宅へ向かいました。利用者さんに弁当を渡しながら「お元気でしたか」と声をかけられると、笑顔がかえってきました。じの会の配食は、弁当を届けるだけでなく、安否の確

認を知ることが大切な事だと思いました。配食後、保健センターに戻り、全員が揃ったところで試食が始まり、食材の調達、味付け：等について、感想を述べあい、次回の調理に生かしていくとのことでした。

弁当の献立

- ・鯖の竜田揚げ（あんかけ）
- ・がんもどき
- ・れんこん・人参のきんぴら
- ・さつま芋とパインの甘煮
- ・大根・白菜・柚の漬物
- ・厚焼き卵
- ・ご飯

じの会では、配食の他に24時間テレビ・グラウンドゴルフ大会・80才以上の方との食事会等に協力しています。



お元気でしたか？

祝 敬老会

健康が一番の財産 運動で脳の活性化を

友部第二小学校区

10月8日、友部第二小学校区体育館で友部第二小学校区の敬老祝賀会が開催、25人の米寿を迎えた方々が紹介され、招待者など約150人が出席して行われました。

青木清区長会長（実行委員長）が「私も、皆さんと同じ招待されている年齢です。運動で脳の活性化をはかり、健康で長生きをしていただき、また、元気なお姿を拝見できて嬉しく思います」と、主催者あいさつされました。

来賓を代表して、山口伸樹笠間市長も「日本は世界一の長寿国です。健康が一番の財産であります。皆様と一緒に長寿をお祝いできることを嬉しく思います。」

皆さんがお住まいの地区の畜産試験場跡地のことで、市としましては、跡地の活用をどうするか、公園にするかなど、今、検討しているところですが、これからは健康に十分留意されてほしいと思

ます」と祝辞を述べ参加者を励ました。常井洋一県議会議員、村上典男県議会議員、石松俊雄市議会議員もお祝いに駆けつけ参加者を激励しました。

アトラクションとして、筑波松風さんによる、筑波山正調ガマの油売り口上、横倉正行さんらによる、シルバリーハビリ体操などが披露されました。

また、友部第二小音楽隊による演奏と作文が披露、武石佳奈（6年）さん・大内海月（6年）さんの司会で進行され、池田暖菜（6年）さんが音楽隊を紹介し、水戸黄門（黄門様と助さん格さんが登場）や音楽隊6年生がハンドベルなどによる花は咲くの合奏、参加者一人一人に児童から手作り

りのものがプレゼントされ、思いがけないプレゼントに大

喜び、菅野心（6年）さんが「おじいさん、おばあさん、これからも笑顔でいられるようお体を大切にしてください」と作文を発表、吹奏楽演奏と歌や踊りに、アンコールもありお年寄り達は楽しいひとときを過ごしました。

子ども達の 歌声に感激

旭平二区

9月19日、旭崎新農村集落センターで、敬老祝賀会が行われました。

式典では、小島雄二実行委員長（司会）のもと、敬老対象者の紹介、笠間市長・知事・県議会議員の祝辞の披露があり、この後、全員そろって記念写真をとりました。

アトラクションにはいると、笠間市在住の堀川伸一氏によるバルーンアートの実演があり、動物や植物をかたどった、いろいろな作品が、次々と作られ、その早さとりアルさに、全員が見とれ、二部は、子ども会による合唱と、高学年による器楽演奏で

したが、会場から「ああ、よかった。可愛かった」などの感激の声がかれました。お昼になると、昼食が準備され、食事をしながら隣同士の話がはずみ、食後はビンゴ

ゲームが行われ「ビンゴ」の声が始めるに従って、会場内は熱気につつまれました。最後に、記念品が贈呈され、敬老祝賀会が閉会しました。



元気な笑顔で

住み良い団地に

旭台団地

コスモスが風にゆれ、秋の気配が漂う9月19日、旭台団地会館で、平成28年度旭台団地敬老祝賀会が開かれました。今年度は、関係者を含め約100人が出席され、地区開催の敬老祝賀会としては盛大に開催されました。

午前10時から式典が始まり、横山英雄一区区長の司会で進行され、青木清実行委員長（四区区长）が開会のことを宣言、高柳栄次実行委員長（二区区长）が主催者を代表して「朝夕めつきり涼しくなりました。今日は3人の

方が米寿を迎えられ、笠間市からもお祝いが届いております。皆さん方は人生の先輩として、これからもいろいろとご指導していただきたいと思います。地域の皆さん役員の皆さんと協力し、これからもこの団地を住みよくするため、努力してまいります。今日一日、楽しいひとときをお過ごしください」とあいさつ、参加者の山内ひささんに、米寿の記念品が贈呈され、山口伸樹笠間市長からの祝辞が披露され、岸本正三区区长が閉会のことを述べて式典が閉会しました。

アトラクションでは、大塚松寿さんの華麗なマジックに一喜一憂、続くアロハ・マイのみなさんと、吉田正次さんのハーモニカの共演、ドウザ・フラスタジオのフラダンスでもりあがりました。



実行委員長から米寿のお祝い



二小音楽隊の演奏を楽しむ

児童から金メダル

旭崎一区

9月18日、旭崎新農村集落センターで開催された敬老祝賀会に、26名のお客さまが出席されました。

式典では、佐竹克文区長の主催者挨拶に続き、山口伸樹笠間市長のメッセージと、多数の祝電が披露されました。

これにつづいて、卒寿と米寿を迎えられた方に、記念品が贈られました。

また、子ども会の児童からは、手作りの金メダルがお客さまに贈られ、会場内が微笑みにつつまれました。

アトラクションでは、ウクレレの会アロハマイとフラダ



ありがとう おりこうさん

ンスの皆さんによる演奏と歌とダンスの共演。次に、社協ボランティア野菊の会の皆さんによる狐踊りとひよつとこ踊りが披露され、お祝いに華が添えられました。

お楽しみのお食事は、ご婦人方の出番です。抹茶の一服や手作り弁当で、おもてなしを受けたお客さま方は、大変満足の様子でした。

散会の時には「ありがとうー」「足元に気をつけて、お帰り下さいー」の言葉が行き交っておりまして。

団地のみなさんに

かこまれて

若狭山団地

10月30日、若狭山団地公民館で、敬老祝賀会が行われました。

午前中は、敬老者を中心に周りを取り囲む形で、全員で記念写真をとり、その後は、輪投げ・ボーリング・パターゴルフ・紅白玉入れ等が行われ、全員が一体となってゲームを楽しみました。

午後からは、会場を屋内に



全員で記念写真

移し、敬老祝賀会の式典が始まり、山口伸樹笠間市長・橋本昌茨城県知事などより届けられた祝辞が紹介され、お祝いの記念品が一人一人に手渡されました。

会食では、テーブルを取り囲み、準備された食べ物や飲み物をいただきながら、お互いに積もる話に熱が入り、時の過ぎるのも忘れてしまうほどでした。

宴もたけなわとなったところで、番号が書かれたステッ

クが配布され、くじびきが始まりました。ゲーム係が引いた番号に一致した人から順に景品が渡され、ビンゴゲームとはひと味違った面白さが感じられました。

またまた、興奮のさめやらぬ様子でしたが、時のたつのも忘れるくらいもりあがり閉会となりました。

手料理に大満足

旭台区

10月2日、旭台公民館で開かれた敬老祝賀会に、22名のお客さまが出席されました。

式典では、沼田悦男区長の主催者挨拶に続き、山口伸樹笠間市長のメッセージと、多数の祝電が披露されました。

また、米川操民生委員からは、お客さま一人一人のご紹介がありました。

アトラクションでは社協ボランティア・ハーモニークラウスの皆さんによる、ハーモニカの澄んだ音色に合わせて、懐かしい歌を参加者の皆さんで合唱をしました。

次の演目は、社協ボラン

ティアの小松崎美恵子さんによる「チンドン屋・いろいろ売り・南京玉すだれ」が巧みな口上とともに披露されました。小松崎さんとアシスタント役の大和田さんとの大熱演に、見とれ・聞き惚れたお客さまは、大変楽しい時間を過ごしておられました。

お楽しみのお食事は、役員さん方が腕によりをかけた、赤飯と季節の手料理がテーブルに並べられ、お客さま方が大変満足のご様子でした。

祝賀のひとときは「お世話になりました」「足元に気をつけて、お帰り下さい」との言葉を交わしつつ、散会になりました。



児童からのプレゼント



狙いをさだめ一球入魂

大旭支部グラウンドゴルフ大会

11月20日、友部第二小学校グラウンドで、第14回の大会が開かれ、8団体78人の方が参加し、熱い戦いが展開された。

開会式では、小野武大旭副支部長、荻津正男実行委員長のあいさつの後、来賓の小池和夫社会福祉協議会次長、吉成和美地域福祉グループ・グループ長を代表して、小池次長が祝辞を述べられた。

競技に先立ち、木村孝男審判長によるルールの説明が行われ、各選手は1グループ約5〜6人編成でスタートの位置についた。

「ただいまから競技を开始します」の合図と同時に、一斉に試合が始まり、青空のもと、あちこちから、カーンという打球の音や、ゴールに球がはいったピンという音が響きわたり、なごやかな雰囲気の中にも、緊張した空気が漂う試合であった。優勝者は打数33、ホールインワン3回の阿久津猛さんに決定した。閉会式では、1位から10位

までの入賞者の名前と得点が発表され、特別賞を含めた入賞者にすばらしい賞品が授与され、全員が拍手で健闘をたたえた。

大会終了後は、にじの会の皆さんによる温かいカレーライスがふるまわれ、皆それぞれの場所では話をしながらおいしくいただいた。本大会の入賞者、1位から10位までについては下記の表に掲示した。



10位までの入賞者

優勝	阿久津 猛氏	(ときわ会)
準優勝	黒沢 正雄氏	(ときわ会)
第3位	小倉 秀男氏	(旭平ひので会)
第4位	島内 正彦氏	(若狭山会)
第4位	青木 清氏	(ふれあいクラブ)
第5位	栗田せつ子氏	(新生活会)
第6位	大森 辰夫氏	(三友会)
第7位	荻津 正男氏	(矢野下寿会)
第8位	巨理 武氏	(ときわ会)
第9位	川村 武次氏	(旭平新生活会)
第10位	柏 喜男氏	(新生活会)

訓練の大切さを 大沢下一区防災訓練

秋の気配がひととき迫る10月30日に、大沢下一区、防災総合訓練が開催され、大沢保育園跡地の会場には児童を含めて80名を超える多くの参加者が、朝早く集合しました。開会式では、鈴木重雄区長



ボクも参加しました

から「防災訓練が三回目となります。予測不能な災害襲来に備え、各団体の協力を得ました。有意義な訓練となるよう、協力をお願いします」と、あいさつ。
笠間市友部消防署員・中村誠大沢区長会々長・平林英男大沢下二区長・地元の第29消防分団の皆さんを代表して、鈴木征夫第29消防分団後援会々長から「自主防災組織を結成以来、毎年訓練が行なわれ参加しています。大変意義が深いことであり、私達も支援しています」と、あいさつがありました。
訓練は、狩谷博道自主防災会統括部長の司会進行で、開始され、消火・避難訓練や人命救助のコーナーでは、消防署員と分団員の指導で次の訓練が行われました。

あとがき

11月27日に、笠間市社協の支部地区社協運営連絡会主催による「支部地区活動研究会・在宅ケアチーム員研修会」が、開催されました。
三地区の支部代表者から、「よりよい活動を目指して」をテーマに発表があり、菅原毅大旭支部長が当支部の活動状況を報告しました。
くわしくは、笠間市社協発行の「社協だより(No.31号)」に掲載されていますので、ご覧ください。

一、消火器による消火訓練
二、煙道の中の避難訓練
三、心肺蘇生法の実技訓練
次に、自衛隊茨城地方協力本部から東海林真一所長と山本広報官を迎えて、昨年発生した常総市水害現場の救難作業を写真映像で観ることが出来ました。映像からは、災害の恐ろしさと救難作業の過酷な実態が浮き彫りになりました。